

概要

- 講師：川上 康則 氏
東京都立矢口特別支援学校 主任教諭
- 演題：教室マルトリートメント
～不適切な関わりを防ぎ児童生徒の安全基地をつくるには～
- 対象：九州地区において知的障害に携わる方または関心のある方
- 申込：205件
- 配信期間：令和5年2月27日(月)～3月3日(金)
- 視聴回数：785回再生

学習会の満足度

平均評価 4.97/5



学習会の感想

- まずはじめに、素晴らしい学習会の機会を下さり、感謝いたします。ありがとうございます。年度末の今、まさに学級の子どもたちとの日々の関わりで思い当たることばかりで、はっとさせられました。次年度への焦りや心の中の「恥ずかしさ」を実感し、私はしっかり「ちゃんと」の呪いにとらわれていたことに気づかされました。語講話の中では、「認知のゆがみ」や「愛着形成に課題」のある子へのアプローチなど、具体的に教えていただいたことも大きな学びでした。さらに終盤では、援助要求スキルについても触れられていましたが、公立中学校に通う子どもたちのなかには、このスキルが獲得できずにいる生徒も多くいることを感じます。失敗経験を重ねすぎて、自尊心が損なわれてしまっている生徒たちにどう関わり、導いていったらいいのか、今日の御講話を振り返りこれからも考えていきたいと感じました。本当に貴重なお時間をありがとうございました。
- 子ども達との関わりの上で、教員側の課題となっている核心の部分をついた内容でした。子ども達は、心身を形成していく大事な時を過ごしていることを決して忘れてはならないと思います。私たち教職員の固定観念や気分の上下によって、幼い心が揺ぎ、脅かされていく事は罪深いことだと思います。視点が足りない教員は、そのことを自覚し、無知である事を反省しながら研鑽するべきです。また同時に、子ども達の微妙な変化に気づいたり、心の繋がりを持って前進していこうとする、「教職員側の気持ちの余白」を持つ事も非常に重要だと思います。職員同士の学び合いが充実し、お互いを尊重する、自己肯定感の得やすい職場の雰囲気を目指す必要性も感じています。
- 「ちゃんと」の呪い、「強い圧」「弱い圧」学べば学ぶほど、孤立してしまう、など自分が直面していることだと思いました。また子どもへの言葉かけ、気をつけていきたいと思いました。
- うちあたいることばかりでした。子ども達に申し訳なく思います。笑顔と温かさ、尊さ、子ども達への尊厳を大切にしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- うちあたいること大、年に1回はこのような話しを聞いて、反省と自戒をして、自分自身と生徒の成長のためにしたい。
- オンデマンド配信ありがとうございました。今回の内容は、まさしく今現場で生徒と対面する中でまた、職場環境においても直に感じている課題だと感じていました。その中で、児童生徒とのラポールの重要性や行動の背景に隠されている意図、職場内の「格差」についてどのような気持ちをもっていけばいいのか等、参考となる考え方がたくさんありました。できれば多くの職員に見てほしい内容だと感じました。
- この内容は全ての通常学級の先生方にとって、知っているのと知らないのとで、学級経営をしていくことに、雲泥の差が出るのではないかと思うほど、重要な内容だと思った。例えば、子どもにルールを徹底するのか、受容的に関わるのかについて、0か100ではなく、1～99の間で捉える視点は、子どものタイミングを尊重しつつ、段階的に関わることの賢さや、教師にとってのアンガーマネジメントにもつながるだろう。ぜひ、多くの先生方に広めてほしい内容だと思いました。
- これまでの自分自身の体験を振り返り、とても恥ずかしい思いになりました。残りわずかな教職期間ではありますが、少しでもこの研修での学びを活かしていこうと思います。本当に、ありがとうございました。
- とてもいい講習でした。特別支援担当だけでなく、全教職員に聞いてほしいと思います。
- とても貴重な講話でした。まさに職場での関係性や、生徒への不適切な関わりを見聞きして心を痛めている時だったので、タイムリーでした。と同時に自らの言動も省みて改めて考えさせられました。笑顔で上機嫌で接することの出来る大人でありたいと思いました。本当にありがとうございました！
- マルトリートメントという言葉始めて聞き興味を持って申し込みました。今回の講話から沢山の学びを受け自身の「体質改善」につながるようセンスを磨いていきたいです。
- よかれと思ってやっていたことが不適切だったのかもしれないと、考えるきっかけになりました。その考える機会が定期的に持てるように、こちらのオンデマンド動画を定期的に視聴できればいいなと思いました。少しずつ、一つずつ、自分が思っている「ちゃんと」という「のろい」が変えられるような気がします。

- 学校で生徒とのかかわり方について、とてもとても勉強になりました。とても分かりやすく、具体的な場面への対応がイメージできました。特別支援学校や特別支援に限らず、すべての子どもたちへの対応に、今日のような対応ができると、子どもたちは「仕方なく行く学校」から「行きたい学校」に変わるかもしれない、と少し思いました。自分は、今日のような対応をしていきたいと思っています。
- 学習会全体を通して多くの学びがありました。自らの学級経営や指導方法と比較し、考えながら参加することができ、良い機会となりました。今回の学習会で学んだことを実践してみたいと思います。ありがとうございました。
- 教育、教師の道しるべを教えて頂けた時間でした。ありがとうございました。
- 教師としての自分の在り方を見つめ直せた素晴らしい内容でした。ありがとうございました。本校の先生方にも聞いてほしいと思いました。
- 教師として耳の痛い話がたくさんありました。圧の強弱を適切に用いて、ニュートラルに戻ることを意識したいです。職員室でも敵対するのではなく、対話を意識して互いの認識を一致させていく教師でありたいと思いました。
- 教室マイトリートメントのご講話を頂きましてありがとうございます。
上手くいったときのエピソードを、生徒の指導・支援の手がかりとして活用していきたいと思いました。また、「弱い圧と強い圧」を上手くコントロールして常にニュートラルになるよう意識していきたいと思いました。気づきが沢山あるお話をありがとうございました。
- 教室マイトリートメントのお話を聞きながら、何度も自分の指導を振り返る場面がありました。また、具体的な事例のときには、子ども達の顔も思い浮かべながら、対応の仕方を考えさせられる研修会でした。大変、有意義な時間でした。今日は、ありがとうございました。
- 教室マイトリートメントの書籍を読んだ後での講演会視聴だったので、より理解が深まりました。私自身の指導法について振り返っても、反省ばかり・・・という気がします。今日の講演の中で印象に残った言葉が「誉める言葉を使うには準備がいる。今日はこの言葉を使おう！と教室に入ると使おうとする自分になれる！その言葉を使う場面を探す自分になれる！」という言葉です。すごく新鮮でハツとして、晴れやかな気持ちになりました！みんなに伝えたい！と思いました。難しいことは言えませんが、教室に入る時に「今日はこの言葉使ってみない？」とペアの先生と確認してから一日が始まるような学級づくり、学年づくりをやってみたいと思いました。今日はありがとうございました。
- 校内支援を今一度確認したいと思いました。
- 今の勤務校の実態からまさにこの研修が必要なんだと確信しながら配信を視聴させていただきました。すぐさま、同僚にこの学習会の視聴を勧めて回ったほどです。自分は、特別支援教育の立場からですが、納得感につぐ納得感で何度も繰り返し視聴しているほどです。
来年度の本校の研修でも、ぜひ取り扱いたい内容であるなどと考えています。現場の様々な困り感や事象につながるトピックばかりでした。お話ありがとうございました。
- 今までの自分を振り返り反省。自分改善のヒントをたくさんいただきました。今回の研修会に参加して良かったです。こどもの代弁者になれる大人でありたいと思います。ありがとうございました。
- 今回の学習会、私たちが普段している子どもたちや職員との関わりを客観視する機会になったなと思いました。自分がどういう人か、どういうことを心がけて子どもや職員と関わったらよいのか考えることができました。大変勉強になりました。川上先生のお話もっと聞きたいです。ありがとうございました。
- 学習会の内容を子どもと関わる仕事をしているみんなに知ってもらいたいと思いました。
でも、今回の研修資料等の提供は固く禁じられている中、どうやって周りの先生方に伝えていこうかなと思っています。ぜひ資料の提供を許可していただけたらありがたいです。
- 子どもへの言動について、振り返ることができました。「子どもは、ルールよりもラポールに従う」というのは、特別支援担任になって、とてもよく感じます。教師としての関わりを改めて、見直したいと思えます。子どもたちの笑顔と機嫌のよさをキープできるようにしていきます。ありがとうございました。
- 子供との関わり方、声かけなど、自分を見直す良い機会となりました。普段の授業での発問の仕方や机間巡視の際の声かけなど、先生の講話を意識して明日から取り組んでいきたいと思えます。貴重な講演、ありがとうございました。
- 支援学級を担当するようになって二年目となりました。専門的なことはわからずに、手探りの状態で関わってきましたが、今回の講演で、子ども理解について考えさせられました。
笑顔で機嫌よく、日々を過ごしていきたいと思いました。
- 私のために川上先生がお話くださった？と思えるほど、関わりの糸口を見出すのが難しい生徒へのかかわり方や指導に日々苦戦しています。私も笑顔で機嫌よく毎日、生徒と一緒に過ごしたいのですが、それどころか、笑えず、毎日疲弊しています。今までは純粋無垢な知的障害を有する生徒がのびのびと生活できるようにとよかれてと思い行動してきたことが生徒にとっては不適切な関わりであったと思い知らせれました。川上先生のおっしゃる「熱心な無理解者」とは自分のことでした。改めたいと思うのですが、そう簡単にかかないのが苦しいです。依存症を克服するためのセミナーに参加している人の気持ちが分かったような気がしました。今までの経験や築いてきたラインを崩すのは並大抵のことではないからです。生徒への愛情ゆえ熱心に関わってきましたが。今年度担当している学級の生徒は知的障害のみを有する純粋無垢な生徒は1人もおらず、在籍生徒7名全員が情緒障害も有しており、生徒の機嫌にびくびく。心が折れることが多いのですが歯をくしばり、毎日出勤しています。最近は割り切って対応できるようになりましたが修行の1年ででした。年々、生徒が厳しくなっている気がします。かかわり方の糸口を見出す楽しさを味わえるようになったらと切に思えます。「教室のマイトリートメント」川上先生、貴重な研修会ありがとうございました。授業改善、生徒の実態把握。改善すべきこと山盛りです。また頑張ります。また、この研修会を企画してくださった大平の事務局の先生がたにも感謝です。オンデマンド配信のお陰で貴重な研修会参加できました。ありがとうございました。

- 参加してよかったです。
- 子どもたちの見方を変えるよききっかけとなります。なんとなくこうだろうという場面があっても言葉で表現して説明されていて”なるほど！納得！”ということが多くありました。とても素晴らしい研修に参加できうれしく思います。ありがとうございました！！
- 子どもに関わる支援方法を沢山学ぶことができました。
- 子どもの安全基地でありたい。子供への適切な関わりを心掛けていきたい。
- 子どもの人権を意識しない指導をしている先生は、自分の指導が人権を無視しているということに気づかず、むしろ生徒のためを思ってやっているという自信を持って取り組んでいる現実にとまどうることがあります。
- 児童との関わりだけでなく、職員や家族（大人）との関わりについても、自分を振り返る良い機会となりました。たくさんのキーワードが心に響きました。言い換えの言葉で周りの方々の信頼を気づけるように努力していきたいと思います。
- 児童理解で悩んでいた問題を全てとっていいくらい整理することができました。具体的な声かけ等がたくさんあり、実践につなげていけそうです。まずは「体質改善」をしながら、笑顔をキープし、機嫌よく過ごしていきたいと思いました。
- 自分のこれまでの、教員人生を振り返って、ものすごく考えさせられる学習会となりました。何度も、何度も、繰り返し見たい内容だったし、この内容なら、あの職員室の空気に悩んでいる方に見てほしい！他の職員にも是非見てほしい！と思える学習会でした。もったいなくて全職員に見てほしい…オンデマンド再配信を検討していただけたら嬉しいです！！企画して頂きありがとうございました。
- 自分の子どもたちへの関りを振り返るいい機会になった。これから、関わり方を改めるべきところは改めていきたい。まさに体質改善です。子どもたちと互いが笑顔で機嫌よく過ごせるよう、本日聞いた内容を実践できるところから取り組んでいきたい。
- 自分の指導を見直すいいきっかけとなりました。残り少ない期間を子供たちが笑顔で過ごせるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- 自分自身を深く見つめ直す時間になりました。私の実態把握の視点や捉え方は不十分であったと実感し深く反省すると同時に、行動の見取りの捉え方や視野を広げること、対応方がとても勉強になりました。私自身が変わることが必要だと痛感しました。明日からもう一度、実態把握をやり直します。ありがとうございました。
- 実際の学校現場での経験を交えながらのお話が多く、自分が普段どのような関わりをしているかということを考え、反省しながら聴くことができました。とても多くの学びがあったので、子供達との関わりの中で、今日のことを生かして行けたらと思います。ありがとうございました。
- 終始「目から鱗」の内容ばかりで、沢山の学びがありました。「教室マルチリートメント」は見逃されやすい、でも子ども達の心身に強い影響を与えることが分かり、まずは教師が「当たり前やちゃんとにとらわれない」認知を変えることが重要だと実感しました。私は養護教諭なので養護教諭として何ができるかを常に考えながら視聴していました。私ができること「追い込まれている教諭に『とらわれないで大丈夫ですよ』と支えること」と、「不適切な思考に陥っている教諭に『子どもの特性や背景を伝え支援方法を一緒に考えよう』を伝えること」かと思いました。まずは職員室内の環境が明るくなるようにしたいです。
- 新しい学びがたくさんありました。是非多くの先生方も聞いて実践してほしい内容だと思います。
- 深く深く感銘を受け動画の最後の最後まで気づきと学びに満ちた研修でした。特別支援という枠に留まらず広く学校教育全般に川上先生がお話くださった子供たちへの関りの手立てを生かしていきたいと思いました。本当にありがとうございました。研修会の企画担当の方へも心より感謝いたします。
- 身につまされる思いがしましたし、目を背けたくなる思いもしましたが、結果的にとてもやる気の出るご講話でした。このお話を聞いて幸運でした。
- 生徒への見方やそれに対応する方法を考える機会になりました。今後は川上先生の著書も参考にして、より生徒理解を深めて日々の教育にはげみたいと思いました。
- 川上先生のお話を聞き「ちゃんと」の呪いや心の中の「はずかしさ」の概念にとらわれていることを感じました。子どもたちの笑顔と機嫌のよさをキープできるよう私自身も笑顔を忘れず子どもたちの理解の守備圏を広げることに努めようと思いました。
- 川上先生の言葉一つ一つ、話にどんどん引き込まれていきました。子ども達への支援について改めて気付かされたことが多く、これまで関わってきた子ども達へもっと適切な支援ができたのではないかと振り返ることができると学びの場となりました。明日から、子ども達への支援に活かしたいと思います。毎回、大変勉強になります。ありがとうございました。
- 川頭先生から寄せられたたくさんのキーワードが胸に刺さり、様々な気づきや反省をさせられました。自分自身を見つめ直す、立ち止まる、そしてこれからあらためて特別支援教育を皆と一緒に築いていこうと気持ちを新たにすることができました。
- 多くの理論と実践について学び多い時間になりました。書籍も購入して参考にします。ありがとうございました。
- 大変貴重で、心に響くお話でした。これまでの自分自身の振る舞いを省みて、反省しきりの2時間でした。明日からの子ども達への関わり方に生かしていきたいです。笑顔キープで機嫌よく過ごしている安心基地になれるように日々努力していきます。職員同士、心地いい風を吹かせる仲間として繋がれる雰囲気も作っていきなう。
- 大変参考になりました。児童生徒についてだったのに自分自身を振り返るいいきっかけになりました。日常の業務で忘れがちになるので、定期的に先生の資料を読み返して参考にしていきたいと思います。
- 適切な関わり方のヒントをたくさん得ることができました。話を聞いている中で、思い当たる対応をしていたことも多くあり、反省しきりでした。今後は、本講演の内容で学んだ対応の仕方を意識して取り組んでいきます。ありがとうございました。

- 特別支援学校の大変さを学ぶことが出来て良かったです。
- 特別支援教育的視点を持ちながら、教職員のメンタルヘルス的な改善に向けての要素も多く含まれた内容で、とても勉強になりました。
- 内容も分かりやすく充実した内容でしたが、動画と再生回数の制限があって、最後まで見ることができませんでした。空欄がある資料で、書きそびれた部分を何度も再生していたら、うまく行かず、何度も最初からになり、回数がせいげんされてしまいました。
私も、二日に分けて見たのもよくなかったと思いますが、よければ、空欄なしのきにゅうされた資料があれば、ありがたいです。
- 日頃の自分の関わり方を反省することがたくさんありました。子どもの捉え方や信頼関係をつくるための関わり方など、大変勉強になりました。
- 認知のゆがみ、愛着障害が疑われる児童生徒への対応について、お話を伺うことがよかったです。もっと勉強したいと思いました。
- 本講演を聴きながら、自然と自分自身の子ども達との関わり方を振り返っていました。関わり方が不適切だと思えることは自分自身を戒める機会になり、逆に適切だと思えることは自分自身を認める機会になりました。とても、有意義なものとなりました。
- 毎年、川上先生の講話は拝聴させていただいております。マルトリートメントの本も読ませていただきました。以前から講話でお話されているように、教師の在り方、子供とのかかわり方、そしてその手法が体質改善であるという考えに納得しました。学校職員全員の体質改善を目指していこうと思います。
- 約2時間の研修でしたが、あっという間に感じるほど内容が充実しておりました。これまで実践してきたことでうまくいったこと逆にうまくいかなかったことの原因は「これだったのか！」と納得致しました。本研修は特別支援学級担任だけでなく、本県の前先生方に見ていただきたいと思いました。企画してくださった九州地区特別支援教育研究連盟の事務局の皆様には感謝申し上げます。
- 次年度の学校経営、「子どもも先生も笑顔で機嫌よくすごせる学校」を目指していきたいと思いました。
- 一度、那覇市の特別支援教育に関わる先生方の研修会で川上先生の講義に参加させて頂きましたが、今回もとても勉強になりました。多くの心理学に関する表現が出ていましたが、少しずつ自分の頭の中で整理されてきたような気がします。

今後の学習会の内容・企画等について

- 貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございます。残りの講話も楽しみにしています。
- 今回のような企画が定期的にあるといいなと思います。
- オンデマンドで自分の時間で学習することができてよかったです。
- 動画再生制限を事前に知らせてほしかった。
- 素晴らしい内容の企画、ありがとうございます。
- 今後も広く周知していただくとありがたいです。
- 第4回も楽しみにしています
- 今回の研修の対象が広がっていたので川上先生の講話を聴くチャンスがあり、ありがたく思っています。
- 今回の内容のように、子どもに関わる人のアップデートが必要なことを知る研修を増やしてほしいです。
- オンデマンドはとてもいいと思いました。コロナでしばらく全員一斉という場もないですが、組み合わせで実施できるといいかなとも思いました。
- オンデマンド配信は出張などもせず、子供達が帰った後の時間などに学校で見ることのできるのも、ぜひ他の学習会も配信をしていただけたらと思いました。
- このような研修会をもっとオンデマンドで開催して頂けたら、とても助かります。企画ありがとうございます。
- この研修会を企画してくださった大平の事務局の先生がたにも感謝です。オンデマンド配信のお陰で貴重な研修会参加できました。ありがとうございます。
- 今回のように、オンデマンドでも視聴できる内容の学習会をどしどし企画して欲しい。特に、離島の学校については効果があると感じます。
- 今回の内容等大変良かったです。勤務時間内では待機画面になり視聴ができず、時間外で2日に分けて視聴したので、何か方法があれば・・・と思いました。
- 支援者担当だけの講演では、勿体ないと思いました。支援教育理解のために、すべての教育関係者にも聞いていただきたいと思う内容でした。
- 自分は教諭ではないのですが、今回は他の教諭のお勧めがあって参加しました。大変楽しい研修で、もっと児童を理解できる機会（研修）があればまた参加したいと思います。
- 知的障害のあるお子さんの、「携帯やiPad、ゲーム等に依存」についての研修などがあれば受講したいなと思います。
- 毎回とても充実した内容で、大変勉強になります。素晴らしい講師の先生方にも出会えてとてもよかったです。すぐに実践できる資料も大変ありがたいです。
- 要望のある学校で、このようなオンデマンドでもいいので、校内研修ができる環境があれば、うれしいと思います。
- もし可能であれば特別支援学校・学級だけでなく、通常学級で川上先生のような授業実践や学級経営をされたいる先生のお話を拝聴したいと感じました。山口先生をはじめ係の先生方、このような有意義な研修を企画していただき、本当にありがとうございました。
- 沖特研として、あるいは九特連として、このようなオンライン学習会を継続的に発信していただけるととても嬉しいです。若い人や特支初めての人だけでなくベテランも専門知識豊富な人も皆がそれぞれの立ち位置でブラッシュアップできる学習会を企画してください！
- 今回の学習会のどのテーマも関心があり、私にとってタイムリーな内容ばかりです。現場の教師が困っていること、知りたいことをしっかり捉えてくださっていることに感謝です。今後も、どんな学習会が開かれるのか、とても楽しみにしています。
- オンデマンドということで、1週間のうちに、もう一度確認したいところを再度視聴できるところが良かったです。一度目は、資料に書き込みながら聞き、2回目は、子どもへの対応を具体的に考えながら視聴しました。また、動画視聴期間が、1週間だったので、もう少し長くしていただけたらうれしいです。ちょうど、動画視聴期間が、本校の会議等と日程が重なってしまい、勤務時間内に視聴できず、他の職員に紹介する際に、少し躊躇してしまいました。

問い合わせ



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和4年度 事務局
山口飛・桑江広太
徳森愛・玉城百合香
廣渡善治・石川敦

TEL：098-877-4941 / FAX：098-876-4148

MAIL：okitokuken@as.open.ed.jp

沖特研HP：http://www.okitokuken-as.open.ed.jp

研究大会HP：https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren

